

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5880m付近の強風軸対応の前線が四国の南～伊豆諸島付近～日本の東にほとんど停滞。前線近傍の所々で激しい雨や非常に激しい雨を解析し、雷を検知。また、500hPa 5820～5880mの寒気を伴うトラフが西日本付近を通過しており、前線北側の降水が東日本や東北南部に広がっている。
- ② 南西諸島付近は、地上の気圧の谷で東風と北東風が収束しており、局地的に激しい雨を解析。
- ③ 台風第25号が、マリアナ諸島近海を北上。



主要じょう乱解説図

- ④ 高気圧が、千島近海と日本海にほとんど停滞。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 17日は1項①の上層トラフが浅くなりながら本州付近を通過し、18日は後続のトラフが西日本付近に進む。1項①の前線は、後続のトラフの接近に伴って17日夜までに東シナ海までのびて、東シナ海～九州～伊豆諸島付近～日本の東にほとんど停滞するが、19日は次第に不明瞭となる。前線に向かう下層暖湿気や上層寒気、地上の昇温の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う激しい雨が降って大雨となる所がある。前線周辺の東よりの風で暖湿気の流れ込みが続く九州では激しい雨が断続する可能性があることに留意。伊豆諸島では17日は、土砂災害に注意・警戒。東～西日本では18日にかけて、落雷、突風、降ひょうに注意し、伊豆諸島では竜巻などの激しい突風に注意。また、前線と1項④の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて波が高くなる所がある。西日本では18日にかけて、東日本では19日にかけて、北日本では18～19日は、強風や高波に注意。
- ② 1項②の気圧の谷に流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり激しい雨が降り大雨となる所がある。沖縄地方では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、南西諸島では落雷、突風に注意。
- ③ 1項③の台風は、18～19日は小笠原諸島に接近するおそれがある。台風の接近に伴い、非常に強い風が吹いて、波が高くなりうねりを伴って大しけとなる所や、大気の状態が不安定となり、激しい雨が降って大雨となる所がある。小笠原諸島では18～19日は、高波に警戒し、強風や土砂災害に注意・警戒。落雷や突風にも注意。東日本では18～19日は、西日本と南西諸島では19日は高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ①雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

②波浪(明日まで)：小笠原7、伊豆諸島4、その他広い範囲で3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。